

平成23年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰
被表彰者一覧

【保全活動部門(14件)】

	被表彰者	功績概要
1	めいしょうたねさしかいがん・さめまちのしぜんをまもるかい 名勝種差海岸・鮫町の自然を守る会 (青森県)	植物盗掘防止用看板の設置、巡回等によるサクラソウ等の貴重な植物の保護を行うほか、自然観察教室を開催するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
2	たかはし ひでひろ 高橋 秀洋 (岩手県)	十和田八幡平国立公園(八幡平地域)において、永年にわたり、行政機関、学校、ボランティア等に広く呼びかけながら高層湿原の植生回復を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
3	でわさんざんのしぜんをまもるかい 出羽三山の自然を守る会 (山形県)	磐梯朝日国立公園(出羽三山朝日地域)等において、永年にわたり、他団体等と連携してブナ林の保護を行うほか、自然観察会、シンポジウムを開催するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
4	だいがちようりつくるさわちゅうがっこう 大子町立黒沢中学校 (茨城県)	永年にわたり、全校生徒が住民等とともに黒沢地域の八溝山の清掃登山を行うとともに、自然体験活動の推進や各種行事を行うなど、自然環境保全の普及啓発活動に尽力。
5	うじいえしぜんにしたしむかい うじいえ自然に親しむ会 (栃木県)	巡回、外来生物の除去等によるシルビアシジミ、カワラノギク等の貴重な動植物の保護を行うほか、自然観察会を開催するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
6	どうぶつたちのびょういんぐるーぷ どうぶつたちの病院グループ (東京都)(沖縄県)	動物医療施設が不足している島しょ地域において、地域住民や行政と連携してツシマヤマメコ、イリオモテヤマメコ、ヤンバルクイナ、オガサワラオオコウモリ等の希少野生動物の保護を行うなど、自然環境の保全活動に尽力。
7	かまくらのしぜんをまもるかい 鎌倉の自然を守る連合会 (神奈川県)	永年にわたり、地域の多くの住民による緑地の保全を行うとともに、各種イベント、広報・広聴を実施するなど、自然環境保全の普及啓発活動に尽力。
8	いずみ はるお 泉 治夫 (富山県)	永年にわたり、中部日本海沿岸のウミウシ等の動植物の調査・研究をするとともに、各種行事において自然解説を行うなど、自然環境保全の普及啓発活動に尽力。
9	とやまらいちょうけんきゅうかい 富山雷鳥研究会 (富山県)	永年にわたり、ライチョウの生息・生態調査、文献資料収集、保護に関する提言等を行うほか、自然講座を開催するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。

10	かるいざわまち 軽井沢町 (長野県)	ツキノワグマ、ニホンザル等の野生鳥獣対策について、早くから、専門家と連携を図りながら体制づくりを行うとともに、総合的かつ具体的な対策事業を計画・実施するなど、自然環境の保全活動に尽力。
11	とよだ みのる 豊田 稔 (静岡県)	南アルプス国立公園等において、永年にわたり、利用者に対する自然解説及び事故防止、マナー等の助言・指導を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
12	にしやま たけし 西山 武 (愛知県)	永年にわたり、地域に生息する動植物の調査活動をするとともに、博物館、各種イベントにおいて数多くの展示を行うなど、自然環境保全の普及啓発活動に尽力。
13	いとう ひろし 伊藤 宏 (鳥根県)	大山隠岐国立公園(三瓶山地域)において、永年にわたり、捕獲禁止の呼びかけ等によるウスイロヒヨウモンモドキ等の貴重な動植物の保護を行うほか、自然観察会において解説を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
14	ふくおかけんりつきたきゅうしゅうこうとうがっこうぎよぶ 福岡県立北九州高等学校魚部 (福岡県)	行政機関や研究者と連携した水生生物の生息調査等を行うとともに、活動結果等を市の環境施設や環境イベント等におけるパネル展示、水辺観察会、冊子等において発表するなど、自然環境保全の普及啓発活動に尽力。

【いきもの環境づくり・みどり部門(4件)】

15	ほっかいどうれぶんこうとうがっこう 北海道礼文高等学校 (北海道)	外来生物の除去等を行うほか、小、中学校と連携した郷土学習「礼文学」における高校生ボランティアガイドの取組を行うなど、高山植物の生育環境づくり及び普及啓発活動に尽力。
16	とくていひえいりかつどうほうじん にほんちゅうごくときほごきょうかい 特定非営利活動法人 日本中国朱鷺保護協会 (石川県)	中国におけるトキの生息調査等を行うほか、トキの保護に関する各種イベントや講演に参加するなど、トキの生息環境づくり及び普及啓発活動に尽力。
17	らふおーれしゆぜんじあんとかんとりーくらぶ ラフォーレ修善寺&カントリークラブ (静岡県)	永年にわたり、学校・公園・福祉施設等の社会公共施設における緑化植樹、生物生息環境整備、普及啓発に貢献するなど、みどりの普及等を推進。
18	ながさきけんりつせいひのうぎょうこうとうがっこう 長崎県立西彼農業高等学校 (長崎県)	ハマボウの生息地・保護・増殖に関する調査研究、地域での植栽等を行うほか、他団体・事業者等と連携した各種イベントへ参加するなど、ハマボウの生育環境づくり及び普及啓発活動に尽力。

【自然ふれあい部門(10件)】

19	たかはし ただいち 高橋 忠一 (北海道)	釧路湿原自然再生協議会小委員会の委員長やワーキンググループ座長として、環境教育ガイドブックや自然再生普及行動計画のとりまとめを行うほか、永年にわたり、釧路湿原の自然環境等について多くの人々に伝えるなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
20	しおばらおんせんぱーくこんだくたーれんらくきょうぎかい 塩原温泉パークコンダクター連絡協議会 (栃木県)	日光国立公園(塩原地域)において、永年にわたり、学校、行政機関、事業者等と連携をしながら自然解説事業を行うなど、自然とのふれあいの普及啓発活動に尽力。
21	ひらさわ のぶお 平沢 信夫 (千葉県)	永年にわたり、多くの小・中・高校における自然環境授業の実施やカリキュラム作成の支援を行うほか、こども環境相談員として全国の子どもたちからの自然環境の保全に関する相談に応じるなど、自然とのふれあいの普及啓発活動に尽力。
22	しまだ としこ 島田 利子 (神奈川県)	永年にわたり、地域の学校教育において愛鳥教育の充実に努めるとともに、野鳥観察会等フィールドワークを行うなど、自然とのふれあいの普及啓発活動に尽力。
23	とくていひえいりかつどうほうじん ふじまえひがたままもるかい 特定非営利活動法人 藤前干潟を守る会 (愛知県)	永年にわたり、干潟における独自のボランティアガイド(「ガタレンジャー」)養成講座の開催による人材育成を行うとともに、環境学習プログラムを実施するなど、自然とのふれあい活動及び普及啓発活動に尽力。
24	おおかわ たかし 大河 孝 (兵庫県)	永年にわたり、小学校の総合的な学習の時間、関係団体が開催する自然観察教室等において解説を行うなど、自然とのふれあいの普及啓発活動に尽力。
25	たに さちき 谷 幸樹 (奈良県)	永年にわたり、京都御苑におけるトンボの調査を実施するとともに、自然教室やトンボ池一般公開の際に自然解説を行うなど、自然とのふれあいの普及啓発活動に尽力。
26	ざいだんほうじん なかうみみずとりこくさいこうりゅうきぎんざいだん 財団法人 中海水鳥国際交流基金財団 (鳥取県)	ラムサール条約登録湿地の中海において、永年にわたり、鳥類の調査研究を行うとともに、自然観察会を開催するなど、自然とのふれあいの普及啓発活動に尽力。
27	とさしみずしりつみさきしょうがっこう 土佐清水市立三崎小学校 (高知県)	総合的な学習の時間を利用し、地域の関連施設と提携した海の生きもの学習を行うとともに、地域住民を講師とする自然環境学習を行うなど、自然とのふれあい活動に尽力。
28	ねいちやーがいで・おおむたしぜんあんないにん ネイチャーガイド・オオムタ「自然案内人」 (福岡県)	ムササビなどの夜の生き物の生態を観察することができる夜の自然観察会等、高い企画力により各種イベントを開催するなど、自然とのふれあいの普及啓発活動に尽力。

【調査・学術研究部門(5件)】

29	はら けいたろう 原 慶太郎 (千葉県)	永年にわたり、植物生態学、植生学をベースにしたGISおよびリモートセンシングによる自然環境保全についての調査研究を行い、1/2.5万植生図の全国整備及び重要生態系監視地域モニタリングの推進に貢献するなど、自然環境の調査研究活動に尽力。
30	しらやま よしひさ 白山 義久 (東京都)	海洋生物の多様性、分布及び個体数の調査・解析を行う国際プロジェクト等に参加し、海の生物の多様性と生態の解明や、国内における海洋生物多様性保全戦略策定に貢献するなど、自然環境の調査研究活動に尽力。
31	いしだ しょうぞう 石田 昇三 (三重県)	永年にわたり、トンボの調査研究や生態の図鑑等の数多くの著書の執筆を行い、研究水準の向上に貢献するなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。
32	ふくだ はるお 福田 晴夫 (鹿児島県)	永年にわたり、蝶の調査研究や生態の図鑑等の数多くの著書の執筆を行い、蝶の生態等の解明に貢献するなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。
33	あずま せいじ 東 清二 (沖縄県)	永年にわたり、琉球列島における昆虫相の調査研究や図鑑等数多くの著書の執筆を行い、自然環境調査の特に昆虫に関する基礎的、応用的調査、研究、教育普及等に貢献するなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。

【国際貢献部門(2件)】

34	よしだ よしお 吉田 栄夫 (埼玉県)	南極地域の環境保護モニタリングの技術指針やマニュアル作成検討会の座長として、技術指針等のとりまとめを行うほか、南極地域の環境の保護に関する法律に基づく南極地域活動計画の確認検討委員を務めるなど、南極地域の自然環境保全に貢献。
35	ほり ひろし 堀 浩 (東京都)	インドネシア(スマトラとカリマンタン)の森林火災被害からのスマトラトラの救出及び保護センターでの収容・繁殖、タイの国立大学との協働による「アジアゾウ飼育・健康管理研修」の開催等に中心的な役割として関わるなど、インドネシアやタイとの自然環境保全に関する学術交流に貢献。